

中学

平成二十六年 度

国語

△問題用紙▽

受験番号				
フリガナ				
氏名				

11枚

□ 語 1~6
算 数 7~11

***** 注意事項 *****

- 一. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
 - 二. この問題用紙は表紙を含め四枚から成り立っています。
また、解答用紙は別紙で一枚あります。
 - 三. 受験番号と氏名を解答用紙とこの表紙の指定欄に記入しなさい。
 - 四. 解答は指定の解答用紙に記入しなさい。
- 印刷が不鮮明、または枚数が足りない場合は手を挙げて、試験監督に知らせてください。

暁星国際中学校

一 次の文章は、柳月美智子の小説『しずかな日々』の一節である。母親と二人暮らしの枝田光輝は、小学一年生の夏に母親に連れられてはじめておじいさんに会ったが、おじいさんはほとんど言葉を交わさずに庭木に水をまき始めた場面である。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「はい」

母さんが突然言つてぼくの手を引き、縁側から家の中に入るように促した。ぼくには聞き取れなかったけど、おじいさんが水まきをしながら、母さんに声をかけたらしい。

「ねえ、あの人、今なんて言つたの？ ねえ、なんか言つたんだよね？」

母さんは答えずに、ぼくの手を引いた。

「ねえ、なんて言つたの？ ねえってば、お母さん」

ぼくが、◇聞くと、

「中に入りなさい、と言つたんだ」

と、おじいさんが、ぼくに向かつて大きな声で言つた。ぼくはびっくりして、そのあと「ああ、そうか」と納得して、母さんと中へ入った。

家の中は、ひんやりとして涼しかった。真夏の風は、この家に入ったとたんに遠慮して温度を下げていたようだった。母さんは台所にぼくを連れていき、冷蔵庫を開けて、飲み物を探していた。作り置きのお茶がなくて、それをコップに注ぎながら、これ、飲めるのかしら、とつぶやいて匂いを嗅いだ。それから、大丈夫そうね、と言つてぼくに渡した。①複雑な気持ちだったけど、ものすごくのどが渇いていたから、ぼくはそれを一気に飲み干した。うちのとはちがう、お茶の味がした。

「あの人、だあれ？」

ひと息ついてぼくが聞くと、母さんは「遠い親戚の人」と、そんなような言い方をした。ぼくは深く考えずに「ふうん」と返事をした。それから、もう一杯お茶をもらった。人心地ついでから、ぼくは◇家の中を見回した。②こげ茶色ばかりの、古くて、余計なものはいっぱい

ない家だった。

テーブルは年季の入った分厚いもので、ぼくが座った椅子もかなり重かった。ぼくだけの力では動かせなかったから、ぼくは、テーブルと椅子との間に、③身体を滑りこませるようにして

座った。母さんは、水道で執拗に手を洗い、肘のほうにまで水をかけていた。そして、冷たくて気持ちがいい、と言ひ訳みたに言つた。母さんは、椅子に座らずに立つたままだつた。

◇、分厚いテーブルを苛立たしげに指ではじいたりした。

庭ではおじいさんが、じゃんじゃん水まきをしていた。台所からその光景がよく見えた。おじいさんはいつのまにか、大きな麦わら帽子をかぶっていた。

◇「行こうか」

どのくらいたつたのだろうか。⑤ぼくにとっては五分もたつてなかった気がするけど、母さんがそう言い、ぼくは椅子からすり抜けて下りた。母さんは、先に庭に下り立ち、おじいさんに声をかけた。「おじやました」とか、「もう帰ります」とかそんなことを。

※人心地はほっと、一息ついた気持ち。 ※年季の入った長年使われ続けた。

※執拗にしつこく。 ※苛立たしげに落ち着かずいらした様子で。

問一 ◇ ◇に当てはまる最も適切なものを次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 時おり イ ゆっくりと ウ そろそろ エ あわてて オ しつこく

問二 線部①「複雑な気持ち」とありますが、それはどのような気持ちですか。最も適切なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア はじめて会うおじいさんの家で、勝手に冷蔵庫を開けてお茶を飲むのは気が引ける気持ち。

イ はじめて会うおじいさんとう会話すればよいかかわらず、これからを不安に思う気持ち。

ウ いっ作られたお茶なのかわからず不安だったが、のどが渇き飲みたくてたまらない気持ち。

エ 庭でおじいさんが水まきをしているのに、先にぼくがお茶を飲むのはためらわれる気持ち。

オ おじいさんがほとんど言葉を交わさず、母も何も説明してくれないので不満に思う気持ち。

問三 線部②「こげ茶ばかりの」とありますが、これはどのようなことを表しているのですか。最も適切なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 老人好みのものが多いこと。 イ お茶がよく似合う家だったこと。

ウ 火事にあつた家だったこと。 エ 年を経た家具ばかりだったこと。

オ 家の中が暗く見づらいこと。

問四 — 線部③「身体を滑りこませるようにして座った」とありますが、それはなぜですか。最も適切なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 小学一年生の「ぼく」の体格は、テーブルや椅子に比べると、かなり小さかったから。

イ 「ぼく」にとっては、テーブルも椅子もかなり重く、動かすことができなかったから。

ウ 「ぼく」は、年季の入ったテーブルや椅子に、傷をつけないように座ろうとしたから。

エ 年季の入ったテーブルや椅子は、つるつるに磨かれていたので、滑りやすかったから。

オ 「ぼく」はほっと一息ついて、早く休みたいと思い、急いで椅子に座ろうとしたから。

問五 — 線部④「母さんは、椅子に座らずに立ったままだった」とありますが、その時の「母さん」の気持ちはどのようなのですか。最も適切なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア あまりの暑さに肘まで水をかけたが、「ぼく」に見られてしまい、はずかしい気持ち。

イ あまりの暑さに座ることもできず、庭の水まきを台所からながめ、すずみたい気持ち。

ウ 「ぼく」のわがままな言動にいらいらして落ち着かず、がまんできないでいる気持ち。

エ おじいさんは、ほとんど言葉も交わさずに水まきをしていたので、腹立たしい気持ち。

オ 急用を思い出して帰ったかったが「ぼく」が座りこんでしまい、いらいらした気持ち。

問六 — 線部⑤「ぼくにとっては五分もたつてなかった気がする」とありますが、「ぼく」と「母さん」の気持ちには違いがあります。「ぼく」と対照的な「母さん」の気持ちがある部分を二十字以上二十五字以内で抜き出し、その最初と最後の三字をそれぞれ答えなさい。ただし、句読点をふくみません。

① 二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いわゆる「説教」というものは、もともとあまり効果のあがらぬものである。上司が部下に、先輩が後輩に「そもそも……」という調子で、注意すべき点や、よく考えるべき点について述べる。時には、「俺の若かったときは……」などと体験談がはいるときもある。総じてそこに

語られることは「有難い」ことや、有益なことなのだが、どうも効果の方は、もうひとつあがらないのが特徴的である、と言つてよさそうである。

特に、説教が長びくほど効果はないようである。聞かされる方は、「何時終るか」ということのみに関心があつて、語られている内容にはほとんど心を向けていないことが多い。そしてまた不思議なことに、②「もう終りだ」と思っていると、「しかしだな……」という調子で同じことが繰り返して語られたりして長くなるのである。

だいたい説教する側の人は、それまでにさんざん説教を聞かされてきた経験を持ち、説教は長びくほど効果のないことを知っていそうに思えるのだが、それにもかかわらず、説教はえてして長引き勝ちとなる。いったいこれはどうしてだろうか。それはまず、説教で語られる話が、何といつても「よい」話には違いないので、③話をしている本人が自己陶醉するので長くなるようである。平素の自分の行為の方は棚上げしておいて、「よいこと」を話していると、いかにも自分が素晴らしい人間であるかのような錯覚も起こってくるので、なかなか止められない。

その上、説教をしながら、何となく自分の言っていることが相手の心にとどいていない、効果をあげていない、ということが 感じられてくるので、どうしても同じことを繰り返したり、だめ押しをしたくなったりして、長くなるのである。説教をしていて、同じことを繰り返さない人は稀であろう。

説教を効果的にしようと思うなら、短くすることを工夫してはならない。自分が絶対に言いたいことに焦点を絞る、繰り返し同じことを言わない、と心に決めておく。そうすると、説教をされる側としては、またはじまるぞ、どうせ長くなるのだろう、と思つているときに、パツと終つてしまうのでよい印象を受け、焦点の絞られた話にインパクトを受ける。もつとも、こうなると「説教」というものではなくなつていく、と言ふべきかも知れない。つまりは、説教が短いほど効果があがるのであつてみれば、説教などしない方がいいのではなからうか。それは無いにこしたことはない。

⑤ にもかかわらず、説教はなくてはならないし、あちこちでよく聞かされる。その理由は、説教というものが、説教する人の精神衛生上、大いに役立つものであるからであらう。部下からみると、上司は勝手なことをしたり、威張つたりしているように思えるが、上司は上司なりにいろ

いと苦勞しているものである。このことは親と子、教師と生徒などの間においても言えることである。

河合隼雄『こころの処方箋』

※陶酔…うつとりするほど心をうばわれること

問一 — 線部①「いわゆる『説教』というものは、もともとあまり効果のあがらぬものである」とありますが、筆者が考えているその理由として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 説教の中にはいる体験談や「有難い」ことに、説教される側が共感できないから。
イ 不思議と、説教というものは同じことが繰り返したりして長くなるから。

ウ 説教をされる側は話の内容よりも「何時終るか」ということの方に關心があるから。
エ 説教をする側が、絶対に言いたいことに焦点を絞る、と心の中で決めていないから。

問二 — 線部②「語られている内容にはほとんど心を向けていない」とありますが、これと同じ内容を視点を變えて述べている部分を、本文中の□で囲まれている「だいたい」～「であろう。」の範囲から二十字で書き抜きなさい。ただし、句読点をふくみません。

問三 — 線部③「話をしている本人が自己陶酔する」とありますが、これは具体的には、どういうことですか。最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 平素の自分の行為を棚上げすること。

イ さんざん説教を聞かされた経験をもつこと。

ウ 自分が素晴らしい人間だと錯覚すること。

エ 「よいこと」について話をする事。

オ 同じことを繰り返し、だめ押しをすること。

問四 本文中の□にあてはまる言葉として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア しばしば イ うすうす ウ たまたま エ なかなか

問五 — 線部④「よい印象を受け」とありますが、説教される側が「よい印象」を受けるのはどうしてですか。最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 言いたいことがはっきりした説教だから。

イ 説教の言葉がすんなり理解できるから。

ウ 思いのほか説教が早く済んでしまうから。

エ 説教の有難さや有益さがわかるから。

問六 — 線部⑤「説教はなくならない」とありますが、どうしてだと考えられますか。本文中の言葉を使って三十字以内で説明しなさい。ただし、句読点も一字と数えます。

三 次の — 線部①～⑮の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① 親とは考えが異なる。 | ② 運動会が雨のため延期になる。 |
| ③ 病人の看病をする。 | ④ 彼のことを疑う。 |
| ⑤ 割り算の勉強をする。 | ⑥ 父は学校に勤めている。 |
| ⑦ 警察官になりたい。 | ⑧ 名前を呼ばれる。 |
| ⑨ 両親を敬う。 | ⑩ 他人にも自分にも厳しい人だ。 |
| ⑪ 座席が決まっている。 | ⑫ 本を五冊読む。 |
| ⑬ いらないものを捨てる。 | ⑭ 針に糸を通す。 |
| ⑮ 窓を開ける。 | |

四 次の — 線部①～⑮のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① エイガを見に行く。 | ② ウチユウには色々な星がある。 |
| ③ 先生をソシ敬する。 | ④ サトウを買いに行く。 |
| ⑤ 答えをタシかめる。 | ⑥ 宿題をワスれる。 |
| ⑦ 一つ一つナラべる。 | ⑧ オークストラをシキする。 |
| ⑨ ツクエの上にある。 | ⑩ エンゲキ部に入る。 |
| ⑪ 不足分をオギナう。 | ⑫ りんごをシュツカする。 |
| ⑬ カシを覚える。 | ⑭ アタリは暗くなっている。 |
| ⑮ イトする所を読み取る。 | |

五 次の①～⑩の「」に漢数字を入れて、慣用表現を完成させなさい。ただし、同じ漢字を使っても良い。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 「」人寄れば文殊の知恵 | ② 「」寸の虫にも五分の魂 |
| ③ 「」度目の正直 | ④ 「」階から目薬 |
| ⑤ 「」方美人 | ⑥ なくて「」くせ |
| ⑦ 早起きは「」文の得 | ⑧ 一を聞いて「」を知る |
| ⑨ 二束「」文 | ⑩ 仏の顔も「」度 |

受験番号

氏名

	—
1	
2	
3	
4	

	一
六	二
最初	
	三
	四
}	五
最後	

[illegible]

五		四			三		
⑥	①	⑪	⑥	①	⑪	⑥	①
⑦	②						
⑧	③	⑫	⑦	②	⑫	⑦	②
⑨	④						
⑩	⑤	⑬	⑧	③	⑬	⑧	③
		⑭	⑨	④	⑭	⑨	④
		⑮	⑩	⑤	⑮	⑩	⑤